

中級、上級クラス、スプリントクラス 2022年版

○ 車両規則書 ○

基本仕様(参加車両の最低限ルール)

車両規則書に記入が無い改造・交換はできません。

耐久初級車輛

- 原則** 公道走行を問題なくできる車輛
オイル漏れ、ガソリン漏れ、フォークオイル漏れ、タイヤの溝がない
ステップの取り付け不良、など無い車両
ベース車輛が125cc以下の市販車で有る事
(レースベース車輛はコレの限りでは無い)
RS・TZはNG
ベースエンジンは、ホンダ、ヤマハ、カワサキ、スズキ 125CCまで
アフターメーカーからランナップされているボアアップキット等はOK
エンジン載せ替えはお問い合わせください。
ボアアップ車両(125CC以上)は、-5週の周回数減算対応となります
(第2戦HSR九州から適応)

① 保安部品

ウインカー、ミラー、テールライト、スタンド、タンデムステップは取り外してください。
エンジンのキルスイッチを必ず設けること(バンドルクリップを握ったまま操作が出来ること)
エキゾーストシステムはサイレンサーを取り付けること、先端は突起していないこと(スラッシュカットはNG)

② タイヤ

スリックタイヤは使用できません。・タイヤへの追加工は禁止します。
使用限度を超えているタイヤの使用は禁止(スリップサインがでてるものはNG)

③ ボディーワーク

カウルの変更は可 但し、突起物と判断された場合は使用できない。
ハンドルを左右いっぱい切った時、タンクやカウル等と指をはさまないようにしてください。
フルカウル車両のフロントフェンダー取り外しは出来ますが、フルカウル非装着車両の場合は、
フロントフェンダーは必ず付けてください。
4stクラス車は必ずオイル受け(0.8 リットル以上)を設けること
同メーカーのタンク流用はOKとする。但し取り付けの際、ステイなどはボルト固定のみとする。

④ 突起物

車両にライダー等を傷つける恐れのある突起物(尖ったレバー、破損して鋭利になった部分)がないように気を付けてください。

⑤ チェーンガード&スプロケットガード

全車にチェーンガード&スプロケットガード(フロント及びリア)の取り付けを義務付けます、
チェーンガードについては、メーカー純正で装着されているもので十分です。
※スプロケットガードの取り付けの為の加工は可

⑥ ゼツケン

フロントゼツケン・サイドゼツケン左右の3面に出来るだけ大きく見やすく貼り付けてください。

ゼツケンは当日配布します。

※リアシート形状により、右のゼツケンを張るのが、困難な場合は、車両の後方から見て分かるように、シートカウル上部ゼツケンを付けてください。また、アンダーカウルの後端左右にサポートナンバーをつけてください

⑦ オイルキャッチタンク

オイルキャッチタンクを装着してください。

ノーマルエアクリーナー装着車両は取り付けなくても良い

転倒時に容易に外れたりオイル漏れを起こさないように固定・配管してください

⑧ ガソリンキャッチタンク

ブリーザー付燃料タンク及びキャブレターに必ず装着してください。

キャッチタンク中を空にしておくようにしてください。

⑨ オイルドレンボルト・オイルフィルターキャップ

ワイヤーロックするようにしてください。又、フィルターキャップをブリーザーチューブ等に

装着するために変更している場合は、ホース等が容易に外れないように固定してください。

⑩ 加工・変更可能な部品

オイルポンプ・クラッチ・ミッション・スプロケット・チェーン・ブレーキ関係

キャブレターのセッティングパーツ・エアークリーナーBOX・ラジエター（ST125のみ ミッション変更不可）

フロントフォーク・スタビライザー・リアサス・ハンドル・レバー・ステップ

純正ミニバイクフレームに同メーカーの純正エンジン交換可（NSRにエイブ用エンジンに変更等）

※取り付けの際、最小限のフレーム加工等は可

※エンジン取り付けて、安全上問題があると判断された場合は走行できない。

電装パーツ類（CDI・ECU・プラグ・プラグコード・発電装置・バッテリー）

NSR50とNSF100の総合利用は可、但し、安全上問題があると判断された場合は走行できません。

チタンボルト合金の使用可、但し、安全上問題があると判断した場合は使用禁止とする。

⑪ ヘッドライトに関して

ヘッドライトは取り外しておく（推奨）

純正ライトは外れないよう固定すること、また飛散しないようガムテープなどで固定する事

オリジナルライトは、操作上問題が出ないように固定してください。

ガラス製ライト使用の場合、飛散防止の為、クリアーテープを付けてください。

⑫ テールランプの推奨

テールランプの取り付けを推奨します。

⑬ 再車検はありません（車両入れ替えの場合スタッフへ車輛確認が必要）

⑭ 車載カメラや付属品

車載カメラなど取り付けはOK ヘルメット・ライダーへの搭載は出来ません

固定ステーを使って固定＋予備の脱落防止用の固定器具ワイヤリングなどの処置をしていること

脱落した場合、赤旗となります。

インカムなどの無線通話は禁止（発見次第失格もしくはペナルティー）